

美貌格差

愛知学院大学 三好ゼミ

春日宏美 道端茜里 磯部涼 河原潤希

首藤天樹 島袋哲考 大岡和剛

私たちは、「美貌格差～生まれつき
不平等の格差～（ダニエル・Sハマー
メッシュ）」に基づき、調査した。

まず、上記の本を読み、まとめた。

美形の裏側

- ▶ 現代人は美しくありたいと心の底から願っている。
- ▶ 美貌は希少であり、人の美しさは、その人が選ぶ仕事や職業に影響を与える個人の特徴の一つ。また、容姿は結果を左右する特徴の一つである。

- ▶ いろいろな調査の結果、美しさに関して、人の意見はだいたい一致する。
- ▶ 美しいと評価される人はどこへ行ってもだいたい美しいと評価される。だからこそ、美しいという特徴は供給不足であり、希少だといえる。

職場での美形

- ▶ 典型的な働き手の場合、美しさはお給料にどれだけ影響するのだろうか。著者は全国的に無作為に収集したデータを使って分析した。
- ▶ 男性の場合、容姿が並以上ならば、並の男性よりも4%収入が多く、並以下ならば、13%少ない。女性の場合、並以上ならば8%収入が良く、並以下ならば4%少ない。

職業における美形

- ▶ 容姿は人の仕事選びやその仕事選びでの稼ぎを左右する。
- ▶ 容姿が必要ない仕事は例外であるが、営業などといった容姿が関係する仕事では、収入の差が少なからず出るといえる。

美形と雇い主

- ▶ 今までの結果からわかるように、見栄えのいい働き手(容姿のいい働き手)のおかげで利益が増えるため、美形の働き手に給料を割り増しで払っても、彼らのおかげで得られる収入はそれに補うのに十分であるといえる。

愛、借金、そして法律での美形

- ▶ 美しい人は美しい人とくっつく傾向がある。
- ▶ 美形が得なのは、好きになってくれる人は美形のほうがたくさんいるから。

ブサイクを法律で守る

- ▶ 法律として、人種や民族、信仰、女性、お年寄り、障害者を保護する法律はあるが、ブサイクを法律で守るには、ブサイクかどうかの容姿を測らなければならない。
- ▶ しかし、差別を禁止しようとしていることや、容姿の判定には必ず主観が入るため測れない。と法律上では考えられている。

美形の先行き

- ▶ 結果として、ブサイクな容姿は人の足を引っ張るし、仕事、日常生活で、容姿のいい人よりマイナスであることがはっきりとしている。

調査方法

- ▶ プロ野球名鑑（2017）載っていた、セ・リーグの400人の顔を男女100人に5段階評価してもらい、年収との関係を見た。
- ▶ 調査は対象選手の写真を見てもらい、1がブサイク、5がイケメンという基準で評価してもらった。
- ▶ この方法は、いろいろな場面で行われている方法である。



- ▶ 巨人 坂本勇人
- ▶ 年収3億5000万円
- ▶ 100人に評価してもらった結果、5点満点で4,25点という結果になった。

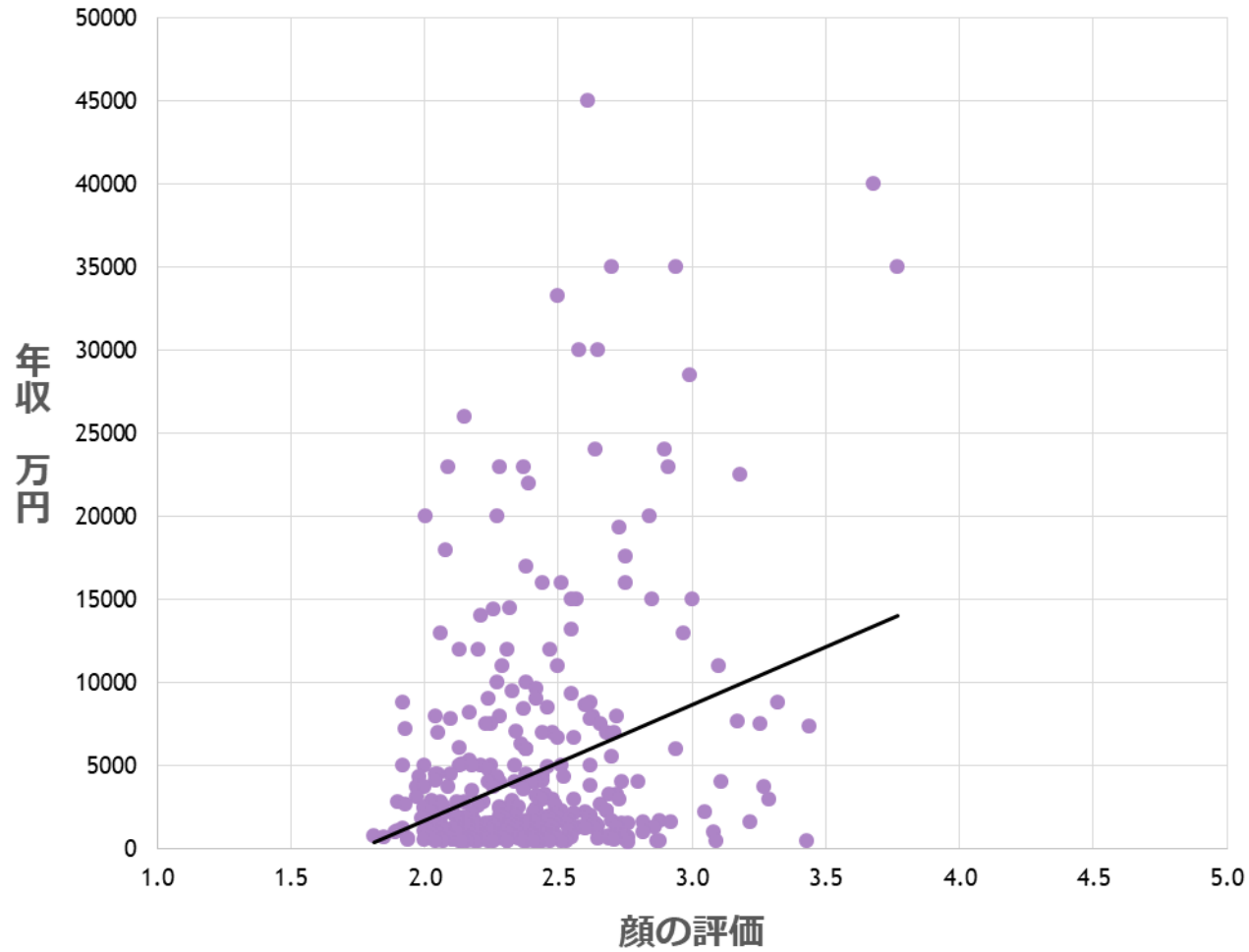
調査対象

- ▶ 20代前半男女100名
- ▶ 男子約6割
- ▶ 女子約4割

約1ヶ月にわたり、調査した。

- ▶ 調査結果からこのような散布図を書いた。
- ▶ 横軸は顔の評価の平均値
- ▶ 縦軸は年収(万円)
- ▶ プロ野球選手の美貌格差を調査するため散布図を用いて表した。

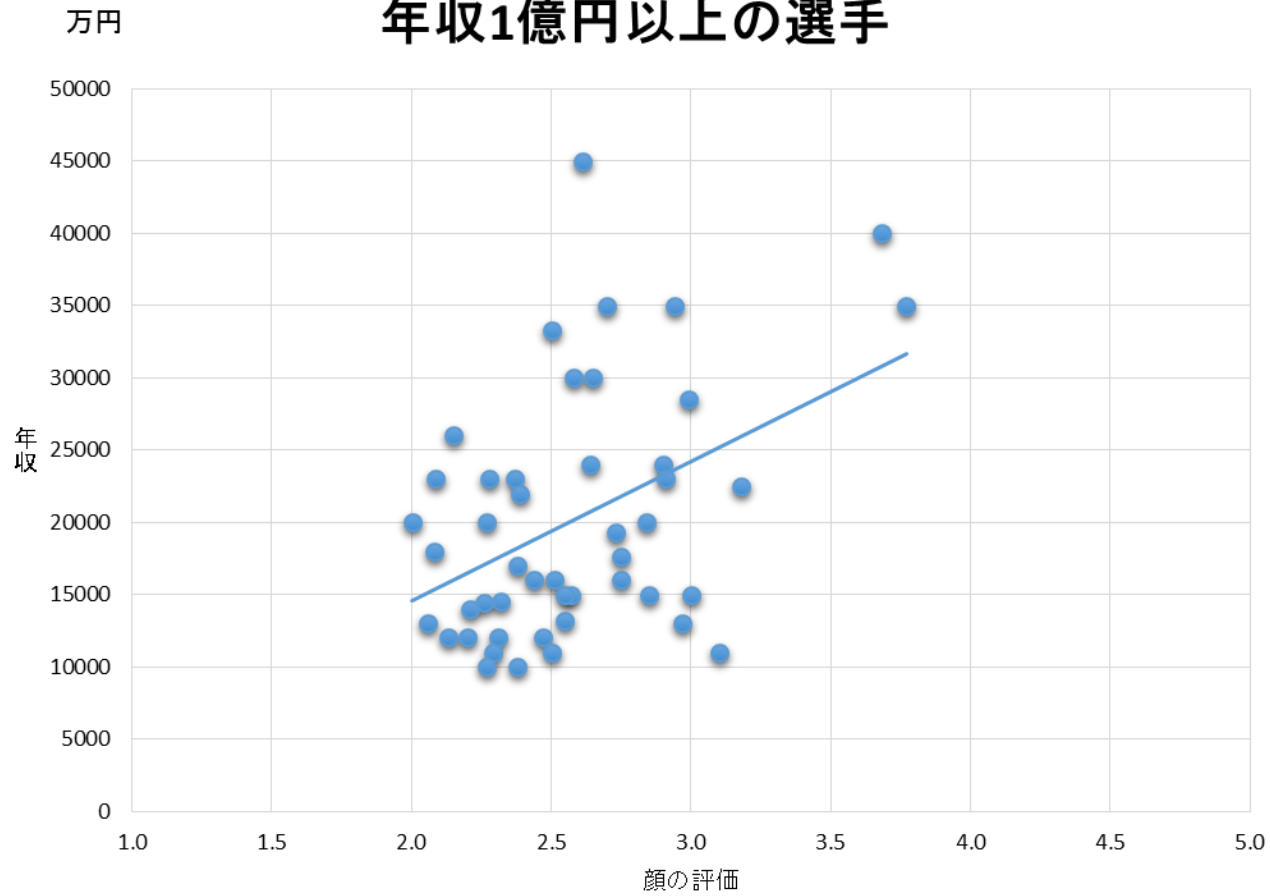
顔の評価と年収の関係



プロ野球選手全員の結果

- ▶ 相関係数は0.31だった。
- ▶ 近似曲線を見ると、右上がりになった。
年収の高さと顔の評価に正の相関があった。
- ▶ 右上がりの結果になったが、ばらつきが大きかったため、年収1億円以上の47人の選手を対象に散布図に表した。

年収1億円以上の選手



年収1億円以上の選手での結果と比較して

- ▶ 年収1億円以上の選手の相関係数は0.44だった。
- ▶ 全員の結果より相関係数が大きかったため年収1億円以上の選手の方が右上がりになる傾向が見られた。
- ▶ 低収入でも評価が高い人もいた。

まとめ

- ▶ なぜ野球で顔と年収に関係があるのか？

2つの仮説を考えた。

- ▶ イケメンは人気者になりやすく (特に女性ファン)お客さんが球場やイベントに足を運び球団の収益が上がるから選手の年収も高くなる。
- ▶ スポーツが得意な人、収入の高い人が美人と結婚し、美形の子供が生まれ、後にプロ選手になるケースが多くあるから。